

美浜町人口ビジョン 2015 概要

目指すべき将来の方向

【美浜町人口ビジョンの位置づけ】

国のまち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」を勘案し、人口の現状分析と目指すべき将来の方向、2060年までの人口の将来展望を提示し、「美浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の基礎とする。

人口の現状分析

【人口動向】

- ・ 2005年が人口のピーク
- ・ 美浜町への転入元は知多半島内が4割程度を占めている
- ・ 美浜町からの転出先は知多半島外が増加している
- ・ 日本福祉大学美浜キャンパスが設置されており、若い世代の社会増に貢献している

【産業別人口】

- ・ 製造業の従事者が多い
- ・ 人口規模を考えると医療や福祉関連の従事者が多い

【交流人口の掘り起し】

- ・ 自然資源を活かした観光創出を目指す
- ・ 豊富な既存観光資源を有効活用する

【定住ニーズの掘り起し】

- ・ 転入者アンケートより：住宅購入、自然環境が豊かなど多数
- ・ 転出者アンケートより：雇用・通勤不便・買い物不便など多数
- ・ 絆づくりによるコミュニティの充実による安心感

【出産・子育て環境】

- ・ 合計特殊出生率が他市町と比較して著しく低い
- ・ 保育サービスが不十分
- ・ 子育てに関する経済的支援の要望

1. 年間出生数の150人を維持できるように出生率を上昇させる取り組みを行う
2. 日本福祉大学の学生など若者層の転入者を今後の定住へとつなげていく
3. 生活環境と雇用創出の充実を図り転出者を抑制する
4. 自然資源を活かした交流人口の増加を促し魅力ある地域づくりを目指す

将来人口の展望

美浜町の人口は、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という）による将来人口推計では、2060年には約14,000人に減少すると推計されている。しかし、目指すべき将来の方向にそった今後の施策の効果により2060年の将来人口として約18,000人程度を目指す。

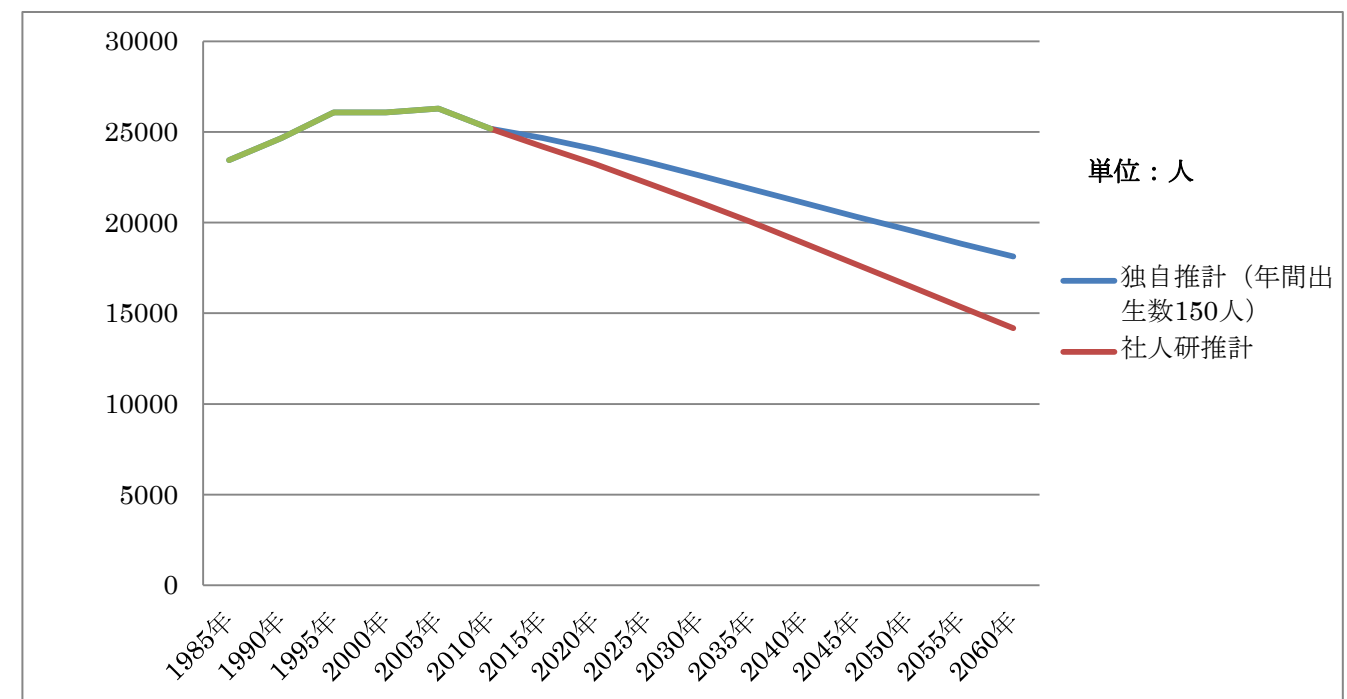


図1 人口推移と将来展望